

パブリカエタノール検査方法

大阪市学校薬剤師会

調整

パブリカパウダー 無水エタノール



パブリカパウダー 3 g に無水エタノール 100 mL を加えよく攪拌する。



1 時間後*¹、沈殿物をろ過する。

遮光容器はポリエチレン (PE)、ポリプロピレン (PP)、ポリ塩化ビニル (PVC) 製を用いる。(ポリエチレンテレフタレート (PET)、ポリスチレン (PS) は用いない。)



ろ過が難しい場合は上澄み液を用いるとよいが、検査の際、沈殿物が食器に入らないようにする。(沈殿物が混入すると残留脂肪分と判別が困難になる場合がある。)



できあがり！



方法

検査する食器



約 5 mL のパプリカエタノール溶液を加え、食器を軽く揺り動かして表面全体にゆきわたらせる。



その後、パプリカエタノール溶液が残らなくなるまで軽く水洗する。



残留脂肪があればオレンジ色に着色されるのでそれを観察する。



*¹ パプリカからのカプサンチン抽出は 1 時間、3 時間、6 時間、12 時間と時間を追って検討したが、時間経過による色の変化は見られなかった。このため抽出時間は 1 時間以上あれば十分かと考えられる。「天然由来の色素を用いた脂肪性残留物検査法：寺島健二（名古屋市学校薬剤師会）、木全勝彦（愛知県学校薬剤師会）」